

報道関係者各位

2018年7月13日

(事後レポート)

昨年、世界 10 カ国に旅立った高校生全員が 1 年間の留学全日程を終え集合  
**海外高等学校交換留学の帰国生による報告会が開催されました**  
～家族への感謝、自分の成長・・・1 年間の海外体験は「最高の財産」～

「ことばと人間」をテーマに多言語の自然習得と多国間交流を実践している、一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ（本部／東京都渋谷区、代表理事／鈴木堅史、以下「ヒッポファミリークラブ」）は、7月8日（日）、国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホールで、2017年度の海外高等学校交換留学（Year Long Program、以下「イヤーロングプログラム」）の帰国生による報告会を開催しました。

毎年7月に開催されるこの報告会は、約1年間の海外留学を終えた帰国間もない高校生が一堂に会して2泊3日の合宿を行い、その最終日に開催されます。司会進行、留学国別のチームによるパフォーマンス、海外体験のプレゼンテーション、報告会の最後に流れるスライドまで、全てを自分たちで企画、実施します。今回は2017年度のイヤーロングプログラムでタイ、アメリカ、カナダ、フランス、ドイツ、ベルギー、イタリア、スペイン、メキシコ、ロシアの10カ国に留学した高校生85人が参加しました。

留学国別のパフォーマンスでは、各自が現地で体験した、家族の大切さや、ことばに関する発見、国民性の違い、日本人と異なるコミュニケーションの取り方など、1年間のホームステイと高校生活でのエピソードが寸劇によって演じられました。また、スペイン留学チームによるフラメンコなど、現地の衣装を身に着けた歌や踊りも披露され、場に華やかな雰囲気を与えていました。

家族愛や母の存在の大きさをテーマにしたメキシコ留学チームの寸劇



スペイン（1名）、フランス（2名）、アメリカ（1名）の留学生4人による留学体験談のプレゼンテーションでは、現地での苦労話とあわせ、ことばが話せるようになっていったきっかけや自分なりに挑戦したこと、そして自分自身の成長を感じた瞬間などが、ホストファミリーや学校の先生、友人とのエピソードとともに語られました。

フランスの Bonneville（ボンヌヴィル）に留学した山下健太さん（埼玉県18歳）は、第二次世界大戦から冷戦までの日本の歴史についてプレゼンテーションに取り組んだことで、フランス語を書く力が飛躍的に向上した経験などを語り、これから留学を目指す高校生に向け、大切なのは「自分の頭で考えること」「チャンスを逃さないこと」とエールを送りました。



フランス留学の体験談を語る山下健太さん

【報道関係お問い合わせ先】

一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ 広報担当 TEL:03-5467-7041

留学生全員によるひと言メッセージでは、自分の成長とともに、家族や仲間など、留学生生活を支えてくれた人々への感謝の気持ちが述べられました。また、報告会の最後に投影された自主制作の『思い出のスライドショー』では、たくさんの笑顔の写真が映し出され、「最高の財産をありがとう！」という全員の気持ちが込められたメッセージで締めくくられました。

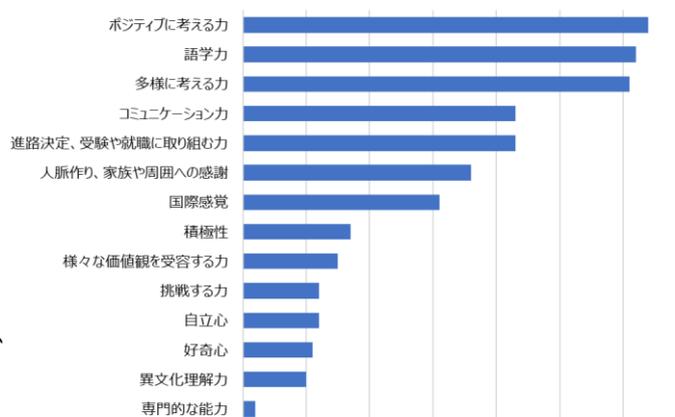


2018年度のイヤーロングプログラムでは、春から夏にかけて世界10カ国に112名の高校生が旅立っています。帰国生による報告会は2019年7月上旬に開催予定です。

ヒッポファミリークラブのイヤーロングプログラムは、高校生が約1年間、海外でホームステイしながら現地の高校に通って勉強するもので、1997年の開始以来、20年間で21の国や地域に約1,600人の高校生を派遣しています。海外体験に挑戦したいという若者の志を、ヒッポファミリークラブが全面的に支援することで、毎年ほぼ全員が留学の全日程を終えて帰国しています。プログラム参加者へのアンケートでは「語学力の向上」とあわせ、「ポジティブに考える力がついた」、「多様に考える力がついた」といった内面的な成長に関するコメントが多く寄せられています。

#### 留学後の成長実感（留学によってついた能力など）

ヒッポファミリークラブイヤーロングプログラム参加者へのアンケート集計結果より



### ■一般財団法人 言語交流研究所

1981年10月、多言語活動の提唱者である榊原陽氏が設立。以来、「ことばと人間」を研究テーマに、多言語の自然習得及び多国間交流の実践を通して、言語と人間の科学的探究を進め、国際間の理解と人類の共生に寄与することを目的とした活動を行っている。2013年1月に一般財団法人に移行、2018年10月に設立37周年を迎える。

### ■ヒッポファミリークラブ（会員制）

一般財団法人 言語交流研究所が運営する「ヒッポファミリークラブ」（会員制）は、「多言語の自然習得活動」、「国際交流活動」、「研究・開発活動」の3つを柱とし、家族や地域の会員と共に、様々な国や地域のことばを自然に身につけ、様々な人に出会い、共に育つことのできる環境づくりに取り組んでいる。2018年6月時点、全国約700カ所の活動場所に約20,000名のメンバーが所属し、日本国内だけでなく海外（アメリカ、メキシコ、韓国）にも活動が広がっている。

### ■オフィシャルサイト

<http://www.lexhippo.gr.jp/>

### 【報道関係お問い合わせ先】

一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ 広報担当 TEL:03-5467-7041